

令和6年度第2回高浜市障害者地域自立支援協議会本会議次第

日時 令和6年10月22日（火）15：30

場所 いきいき広場 いきいきホール

1. あいさつ

2. 報告

（1）部会活動について【資料1】

- ・障がい福祉サービス事業所部会
- ・障害児通所事業所部会
- ・防災部会
- ・地域生活支援拠点部会

（2）研修事業について【資料2】

- ・実施済みの研修
- ・開催予定の研修

3. 議事

（1）各部会の課題について

（2）その他の課題について

4. その他

- ・第3回は令和7年3月5日（水）13：30～ 開催します。

<障害福祉サービス事業所部会の取り組み>

【第 1 回】

令和 6 年 7 月 5 日（金）13：30～15：00

（1）昨年度の振り返り

（2）各事業所報告

①事業所の現状 ②事業所の課題 ③部会でやりたいこと

（3）今年度の取り組み 上記（2）の③を受けて

①虐待防止研修の実施

講師を昨年度と同じ日本福祉大学綿先生に依頼

開催日程 令和 7 年 2 月 17 日（月）13：00～15:30

②事業所見学会の実施（就労系事業所見学）

（4）今年度の開催予定

第 1 回を含め 4 回開催予定

第 2 回 令和 6 年 12 月 3 日 事業所見学会

第 3 回 令和 7 年 2 月 17 日 虐待防止研修会

第 4 回 令和 7 年 3 月予定 活動内容の振り返り

【第 2 回】（予定）

令和 6 年 12 月 3 日（火）9：10～12：45

（1）事業所見学会

（目的）

- ① 部会メンバーが、市内就労系事業所を見学し、各事業所の実際の活動の様子を知ること、理解をより深めたり、良い刺激を受けるなどし、各々の事業所の活性化へと繋げる。
- ② グループホームやヘルパー等「暮らし」を支える支援者が、関わっている利用者の方の働く様子を実際に見ることで理解をより深め、日々の支援の向上へと繋げる。
- ③ 部会メンバーが交流を深め、より良いネットワークを構築する。

（見学先）

- ① 授産所高浜安立 → ② テラスワーク → ③ トライワーク
- ④ チャレンジサポートたかはま → ⑤ サンほっとサービス
- ⑥ カフェ＆ベーカリーふるふる

<障害児事業所部会の取り組み>

【第 1 回】

令和 6 年 6 月 14 日（金）10：30～12：00

- (1) 昨年度の振り返り
- (2) B C P の進捗状況について確認
- (3) えん J O Y ネット高浜の活用
- (4) 今年度の部会の取り組み内容について意見交換（グループワーク）
 - ・部会の目的が不明瞭であること、コミュニケーションの不足が課題
 - ・進路先、就職先の情報提供の重要性。高学年になった利用者の進路に関する支援と大人のサービスについての理解が必要
 - ・虐待防止研修、ハラスメント研修、現場のニーズに合った研修が必要
- (5) まとめ
 - ・グループワークを実施したことで、事業所が感じている課題が分かった。
 - ・福祉サービス提供者としての質の向上を図っていく必要があることが分かった。
- (6) 今年度の取り組み
 - ・部会として今年度中に来年度に向けた道筋を作る
 - ・事業所の特色を相互に理解し、事業所同士の関係づくり
 - ・研修実施

【第 2 回】

令和 6 年 9 月 13 日（金）10：30～12：00

- (1) 事業所の特色（療育のねらい、強み）等の事業所紹介
(お互いの他事業所の取り組みを理解することを目的)
- (2) グループワーク テーマ「療育、支援における悩みについて」
(参加者同士のつながりを築くことを目的)
- (3) まとめ
 - ・グループワークを通じ、感じている課題が共通していた。
 - ・家族との連携に苦労していることが多い。
 - ・職員間のコミュニケーションに課題がある。
 - ・事業所におけるリスクマネジメント体制整備が必要。
- (4) 課題
 - ・対人援助職としてコミュニケーションスキル向上
 - ・適正な事業所運営のためのリスクマネジメント、虐待防止、権利擁護の視点
 - ・第 2 回のグループワークで出された課題についてどうしたら良いかを次回以降で検討

<防災部会の取り組み>

【第 1 回】

令和 6 年 7 月 3 日（水）10：30～12：00

（1）昨年度の振り返り

- ・マイタイムライン作成の研修を開催した。
- ・ファシリテーターとして参加したが、マイタイムラインについて質問され、答えられない事柄があった。

（2）今年度の取り組みについて意見交換

- ・マイタイムラインを学びたい。
- ・被災者または被災地に行った人の話を聞きたい。聞く体験と、自分の考えを出す体験を合わせて行いたい。
- ・日頃からどんな備えが必要か継続して学びたい。

（3）まとめ

- ・マイタイムラインについての知識が不足していることがわかった。
- ・被災地に行った人から現状を聞き、災害への備えについて各自の考えを持つ必要がある。

（4）令和 6 年度の取り組み内容

- ・マイタイムラインの学びを深める、人に説明できるようになる。（第 2 回部会へ）
- ・被災地の出来事を身近なことと感じ、災害への備えを学ぶ。（第 3 回部会へ）

【第 2 回】

令和 6 年 8 月 23 日（金）13：30～15：00

（1）マイタイムライン勉強会

（2）しらぎくの会開催の勉強会報告

（3）まとめ

- ・「わがまちガイド」等、避難経路の確認方法を学んだ。
- ・被災時の所在の把握が困難と感じた。

【高浜市民の防災フォーラム】（協力）

令和 6 年 9 月 21 日（金）13：30～15:30

（1）段ボールベッド組み立て、簡易テント設置体験

※来場者は 109 名（スタンプラリーで集計）

※市内生活介護事業所、市内外の放課後等デイサービス利用者も来場

【第 3 回】 令和 6 年 10 月 18 日（金）開催

<地域生活支援拠点部会の取り組み>

【第 1 回】

令和 6 年 6 月 20 日（木）10：00～11：45

- ・地域生活支援拠点の 5 つの機能ごとに年度毎に評価し、その結果から取り組み課題を抽出

令和6年度 地域生活支援拠点取り組み計画			
機能	現状レベル	現状課題等	具体的取り組み内容
相談	多機関の連携（個別ケース会議等）により個別のニーズが把握されており、地域の課題として相談担当者に認識されている。	関係機関による個別ケース会議により、ニーズ把握をして支援に繋げている。ニーズを地域課題としての取り扱いまではできていない。今後障がい福祉従事者への認識を広げることが必要。	・緊急時プラン作成（備えるプラン）作成の推進（成人）①本人及び主介護者が高齢（親75歳以上）②ひとり暮らしで身内がいない（児童）主介護者が精神障害で、家族や身内に協力者がいない。 ・福祉サービス利用をしていないケースの現状把握 ・利用同意書（個人情報共有）を同時取得 ・備えるプラン作成の説明書作成 ・相談支援事業所間会議時に地域課題等の抽出をし、関係部会への検討依頼
緊急時の受け入れ・対応	障がい児者を緊急時に受け入れる支援が市内・近隣市内にない。	・緊急短期入所受け入れ先との連携の不透明さ ・緊急対応をしてもらう支援者確保と負担軽減策 ・病院（特に精神科）との連携。 ・緊急時プラン（備えるプラン）作成者数を増やす ・地域生活支援拠点事業への事業所協力体制整備	・短期入所受け入れ先情報について相談支援事業所間で共有 ・病院との連携強化（特に精神科病院）として、緊急時の相談窓口としての連携の仕組みづくり及び緊急対応前のスーパーバイズ機能の確保 ・高浜市において地域生活支援拠点事業が面的整備であることを市内事業所へ周知
体験の機会・場	体験の機会・場を提供する仕組みは整っているが、本人のニーズに基づいた体験の機会を提供するまでには至っていない。	・支援者の確保がないと利用できない。（障がい者単独利用向きではない） ・近隣の短期入所等で体験可能。（ニーズに合っている） ・条件に合えばケアハウス高浜安立も利用可	・体験の場 みんなの家の管理について ・みんなの家の利用についての検証 ・市内各事業所で宿泊体験等、緊急時に備えた体験の場と機会の確保に向けた協力依頼 ・みんなの家の広報及び周知に向けたイベント等 ・みんなの家以外での体験の場の確保
専門的人材の確保・養成	自立支援協議会・拠点等が研修会を実施しているが、それが個別になっていて、連携がとれていない。	・部会で研修を開催するのかわ不明確で計画性が課題。 ・関係機関等からの研修ニーズ把握ができていない ・各部会との連携調整	・支援者養成のための体系的な研修の実施方法の検討 ・事業所内のキーパーソンの育成、スーパービジョン ・各部会との人材育成・研修にかかる協議及び計画 ・専門分野の研修の実施検討 ・事業所の研修ニーズ、困り事の把握
地域の体制づくり	地域の支援者同士の顔がみえてきているが、自立支援協議会・相談支援事業等がそれぞれ機能しており、各機関の連動が少ない。	各機関の連動はスムーズではない。協議会の部会はあるが児と者の連携はこれから。各事業所の緊急時対応の相談をうけられるようにしたい。	・各事業所へ、地域生活支援拠点の面的整備への理解を広げるための協力依頼。 ・えんJOYネット高浜の活用による連携強化 ・緊急プラン（備えるプラン）作成におけるケース会議等への参加要請 ・サービス担当者会議にて個別ニーズ把握と連携の確認及び地域課題への対応。

【第 2 回】（予定） 令和 6 年 11 月 20 日（水） 取り組み内容の進捗報告

〈高浜市障害者地域自立支援協議会共催研修について〉

1 障害基礎年金学習会 「教えて！障害基礎年金」

主 催 高浜市手をつなぐ育成会
 実施日 令和 6 年 9 月 12 日（木） 10：00～12：00
 会 場 いきいきホール
 参加者 17 名 （障がいのある子をお持ちの保護者、相談支援専門員）
 内 容 DVD 視聴講演会 障害基礎年金の基本の「き」
 DVD 資料座談会 社会保険労務士さんに「ここ」を聞いてみよう
 障害基礎年金申請の流れ
 『親心の記録 支援者の方々へ』の記入の啓発

まとめ

- ・ 20 歳から受給できる障害基礎年金について、行政等から通知が来るわけではないため、20 歳の誕生日を迎える時に申請が必要なこと。その他、基本的な事柄や支給額の説明もあり分かりやすく理解が深まった。
- ・ 年金申請に必要な書類として診断書があり、医師に書いてもらうためにも日々の状態や変化を書きとめておけるようにしていきたい。その意味でも親心の記録をつけておくようにすると困らない。
- ・ 子どもが学齢期のうちから知識を得て将来の見通しが持てると、漠然とした不安が減るかもしれない。

2 虐待防止研修 障がい者の尊厳を守るために ～虐待のない支援をめざして～

主 催 社会福祉法人昭徳会
 実施日 令和 6 年 10 月 2 日（水） 13:30～16:00
 会 場 いきいきホール
 講 師 三重短期大学 生活科学科准教授 北村香織氏
 参加者 32 名 （昭徳会職員 24 名、 高浜市事業所職員 8 名）
 内 容 虐待とは何か
 ・ 障がい者虐待防止法における虐待の種類と分類、身体拘束について
 ・ 障がい者虐待の現状
 ・ 研修の意味
 障害者権利条約、障害者差別解消法と合理的配慮
 事例検討
 ・ 突然車道に走り出した人の腕をつかんだら痣ができた。
 ・ 食事中、ちくわを手で遊んでいたため、「いらないよね、捨てるよ」と取り上げた。
 この事例について、虐待なのか、虐待でないのか。支援方法や改善策をグループで話し合う

まとめ

- ・ 支援力を上げることが虐待をなくすことに繋がる。支援力を上げるには、事業所ごとにどう考えるのか環境面を含めて検討できると良い。色々な意見を共有して、支援方法を考えることが大切。
- ・ 業務を早く終わらせることができる職員が良い職員（仕事ができる）となりがち。早く終わらせている背景に、利用者を急がせたり、乱暴な対応になっていないだろうか。利用者の尊厳をどう考えて支援するのかも擦り合わせが必要。
- ・ 虐待防止は、障害者の尊厳を守るための支援である。

令和 6 年 9 月吉日

市内事業所 各位

高浜市福祉部介護障がいグループ
リーダー 都 築 真 哉

社会福祉法人昭徳会主催障害分野研修について（ご案内）

見出しの件につきまして、今年度は、高浜市内を会場に研修を開催されるにあたり、高浜市内の障害福祉サービス事業所等の皆さんも受講できるよう自立支援協議会との共催での実施とさせていただきました。

今年度は、第 1 回目に三重短期大学の北村香織先生に「虐待防止について」を、第 2 回目に日本福祉大学の藤井渉先生に「障害者権利条約について」お話いただく予定をされています。

折角の機会ですので、市内事業所の皆様にご参加いただければとご案内させていただきます。別紙「社会福祉法人昭徳会主催障害分野研修申込書」に記入の上、それぞれの期日までにメールまたは FAX にてご連絡くださいますようお願いいたします。

記

1 日 時

1 回目 令和 6 年 10 月 2 日（水）午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分（受付午後 1 時～）

2 回目 令和 7 年 1 月 24 日（金）午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分（受付午後 1 時～）

2 テーマ・講師

1 回目 「虐待防止について」

講師：三重短期大学 生活科学科 准教授 北村香織先生

2 回目 「障害者権利条約について（障害者差別解消法や合理的配慮など）」

講師：日本福祉大学 社会福祉学科

人間福祉専修 准教授 藤井渉先生

3 場 所 高浜市 いきいき広場 2 階いきいきホール

4 参加費 社会福祉法人昭徳会の事業所でない事業所の方は、お一人 5 0 0 円をお願いいたします。

5 その他 お車でお越しの際は、高浜市いきいき広場横の高浜市三高駅西駐車場をご利用ください。発券される駐車券をお持ちいただき、研修後に係員が発券機前にて処理いたします。

6 連絡先 高浜市福祉部介護障がいグループ 担当 前田

TEL：0566-95-9557 FAX：0566-52-7918

Mail：kaigo@city.takahama.lg.jp

令和 6 年 10 月 22 日

各 位

高浜市障害者地域自立支援協議会
会長 児玉 善郎

虐待防止研修会の開催について（案内）

このたび、高浜市障害者地域自立支援協議会主催により、下記の通り研修を開催いたします。お忙しい中とは存じますが、ぜひ、ご参加ください。

記

- 1 日時：令和 7 年 2 月 17 日（月） 13：30～15：30
- 2 場所：高浜市いきいき広場 2 階 いきいきホール
- 3 講師：日本福祉大学 福祉経営学部 福祉マネジメント学科教授 綿 祐二 氏

【連絡先】 〒444-1334 高浜市春日町 5-165 高浜市いきいき広場内
高浜市福祉部介護障がいグループ 前田
TEL：0566-52-9871
FAX：0566-52-7918
メールアドレス：kaigo@city.takahama.lg.jp

令和 6 年 10 月 22 日

各 位

高浜市障害者地域自立支援協議会

会長 児玉 善郎

支援力向上のための研修会の開催について（案内）

このたび、高浜市障害者地域自立支援協議会主催により、高浜市内の支援者向けに、下記の通り研修を開催いたします。各回 1 回のみの参加でも結構です。お忙しい中とは思いますが、是非、ご参加ください。

記

1 日程及び研修内容

	日 時	内 容
第 1 回	令和 6 年 12 月 18 日（水） 10:00～12:00	「自己肯定感を高めるための相談と情報収集の視点」 全部ができないわけではない。 アセスメントとは、ストレングスを共感すること。 そのための相談の進め方と情報収集の 8 つのポイント。
第 2 回	令和 7 年 1 月 22 日（水） 10:00～12:00	「わかりやすく教える技術」 これまでの経験や勘で、場当たり的に教えていませんか？ わかりやすく教えるためには、「技術」が必要です。 そのための 5 つのポイントを、講義と演習で。
第 3 回	令和 7 年 3 月 4 日（火） 13:30～15:30	「障がい特性を踏まえて 支援を考える」 相談支援が増えている発達障がいのある人の特性理解。 そのポイントは、「認知特性」（脳のしくみ）。 障がい特性を参考にしながら、支援の進め方を考えます。

※個人ワーク、グループワークがあります。

2 場 所 高浜市いきいき広場内 いきいきホール

3 講 師 たかはま障がい者支援センター 小松邦明氏

4 受 講 料 無料

5 申込方法 次の URL から申し込みください <https://forms.gle/TS5cDoMqe8Z4PYuG6>

6 申込締切 各回、開催日の 1 週間前まで

7 問合せ先 高浜市介護障がいグループ 前田 電話 0566-95-9557

【講師 小松邦明氏プロフィール】

1998 年 10 月から「財団法人杉並区障害者雇用支援事業団」で、ジョブコーチとして障がいのある人の就労支援業務に携わる。

2011 年 4 月から「社会福祉法人高浜市社会福祉協議会」の職員として、同会が高浜市から受託して運営する「たかはま障がい者支援センター」で障がいのある人の「働く」を通じたまちづくりに取り組む。

2006 年から 2023 年 6 月まで NPO 法人ジョブコーチ・ネットワーク理事。全国 40 か所以上の都市で、職場適応援助養成研修、就労支援セミナー、勉強会などの講師を 100 回以上務める。

●就労支援に関する著書

- ・「図解 就労支援基礎講座 総論 支援の対象者が変わってきて」
- ・「図解 就労支援基礎講座 各論 情報収集からジョブマッチングまで」
- ・「図解 障がい特性を踏まえて定着を考える」